

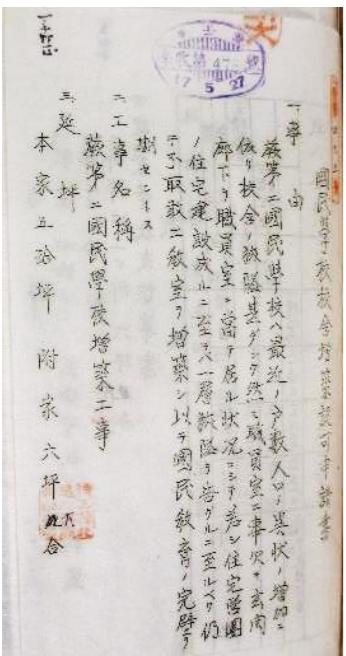
埼玉県立文書館 学習指導案（小6社会 収蔵資料を使った授業）

1 主に使用する資料

昭 4244-15

「北足立郡蕨町第二国民学校増築認可」

飯田氏 72-1 「キング新年号第十一卷第一号附録」



左は、校舎の増築認可の申請書です。町に工場ができ、従業員が集まるため、人口が増えていました。住宅も建設に伴う児童数増加を見通して校舎増築の申請を出しています。「國民」「狭隘」など、子供たちになじみの薄い文字や言葉がありますが、カタカナ交じりの文書のため、グループや教師と一緒に読み進めることができます。

右は、子供向け雑誌の付録です。地図上では、当時の世界の国際情勢が示されています。地図帳で現在と当時を比べる活動も可能です。



2 指導例

(1) 本時のねらい

・当館の収蔵資料を調べたり、学芸員の解説を聞いたりして、戦時中の蕨市および埼玉県の子供たちの生活に関する理解を深める。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○教師の指導・支援等	・資料等
1 文書館職員の紹介をする。		・紹介スライド
2 本時の課題をつかむ。		
埼玉の子供たちはどのような生活をしていたのだろう		
3 提示された資料を調べ、気づいたことを伝えあう。	○スライド資料として黒板に提示する。 ○各自の気づきをメモさせる。 ○学芸員は、写真の説明とともに物資が不足していたことを解説する。	・紹介スライド ・県史写真 2973「金属回収のために供出された二宮金次郎や楠公の像」
・子供たちの前に金属の像が並んでいること。 ・子供たちが金属の像を囲んで集まっていること。		

4 「蕨第一国民学校の時間割」を調べる。



- ・現在と同じ教科や違う教科があること。
- ・早番、遅番があること。
- ・土曜日も学校があること。
- ・学芸員から校舎を増築する理由を聞くこと。

5 史料「罹災学徒調査書」の表をスライドで提示し、蕨市も戦争末期に空襲が激しくなったことを知る。

- ・学校では、空襲で家が損壊した家庭の調査が行われたこと。
- ・蕨市はじめ県内各地で空襲があったこと。

6 子供たちの戦時中の日常生活について、調べる。

- ・遊び（双六）や雑誌の付録（地図）にも、戦争を関連づけた内容だったこと。

7 まとめと振り返り

- ・本時のまとめと振り返りをする。

- ペアで調べさせ、気づいたことをペアごとに伝え合う。

○なぜ時間割に早番、遅番があるのか考えさせる。資料と学芸員の解説をもとに、当時蕨市の人団が増えていたことを理解させる。

- 史料の情報を少しずつ出し、何の表なのか全体で考えさせる。

○蕨市の4月13日の空襲と県内の空襲について解説する。

- 提示された画像と学芸員の解説から、常に戦争が身近な状況だったことに気づかせる。

- 学芸員は、本時全体の解説をする。

○各自で振り返りをさせる。

- ・蕨第一国民学校3年3組時間割
- ・昭 4244-15
- ・北足立郡蕨町第二国民学校校舎増築認可」
- ・罹災学徒調査書（スライド）

- ・高橋（周）家 2311「双六」
- ・飯田氏 72-1 「キング新年号第十一貫第一号附録」

3 児童の振り返り

・戦争中の蕨市には工場や一軒家がたくさんあったことを知った。また、学校生活も早番と遅番に別れていたことが分かった。今学校で受けている社会は終戦後に新しくできた教科だということを初めて知った。
・前までの授業は日本の戦争中の様子しかわかつていなかったけど、今回埼玉県蕨市の戦争中の様子をしたし、わたしたちと同じくらいの歳の子たちのことや、学校の様子など初めて知ることがたくさんありました。戦争は身近な場所で起きていて、蕨市に空襲があったことに驚きました。

4 担当より

- ・本指導例は、小学校学習指導要領社会科6年の内容（2）ア（サ）イ（ア）を受け、蕨市を事例地として作成したものです。戦時中の人々の暮らしを学習した後、自分たちの地域の子供たちの暮らしについて、当館の収蔵資料等を使って調べることで、理解の深化を図る発展的な内容です。
- ・学校生活からは「集会の様子」「時間割」など、日常生活からは「遊び」や「雑誌」など、子供たちが自分たちの生活と比べながら調べたり、考えたりできる資料を使いました。
- ・取り上げる事柄や史料等は、文書館の収蔵資料や市町村の地域資料の有無にもよりますが、変更や追加も可能です。また、タブレット端末を使った学習も可能です。御相談ください。
- ・本指導例の作成に際し、『新編蕨市史通史編』、『新編蕨市史資料編三』を参考にしました。